



題字：鳩山威一郎

機関紙「友愛」

発行所

一般財団法人友愛

〒112-0002 東京都文京区小石川 1-10-13 小石川文ビル2階

TEL:03-5684-3188

FAX:03-5684-3186

E-Mail:you-i@yuai-love.com

http://yuai-love.com

発行人：川手正一郎

編集人：

隔月1回 10日発行

年会費

2,000円

一般財団法人友愛

第十八回定時評議員会開催

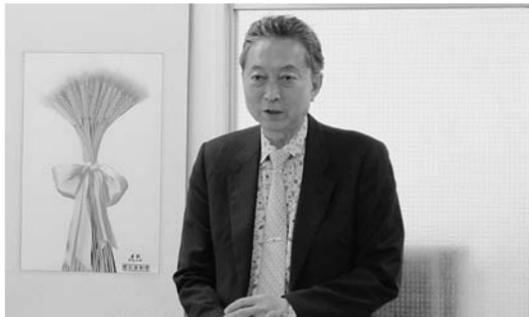
平成二十九年事業報告書、平成二十九年計算書類、平成二十九年公益目的支出計画実施報告書承認

評議員会議長に谷藤悦史評議員就任 終了後第一回運営委員会開催

六月三〇日(土)十一時三〇分より、友愛サロンにおいて第十八回定時評議員会が開催され、平成二十九年事業報告書、平成二十九年計算書類、平成二十九年公益目的支出計画実施報告書が承認された。

事業報告書・計算書類・公益目的支出計画実施報告書については友愛ホームページにて閲覧できる。前に開かれていた理事会、大会が成功裡に終わったことを報告した。また、現在進行中の公益法人申請については、鋭意努力して継続的に申請作業を続けて行く旨を報告した。

平成二十九年十二月に改訂された定款により、評議員



鳩山由紀夫理事長



谷藤悦史評議員会議長



井上和子前評議員長(現理事)



友愛サロンの間仕切りを解放しての評議員会。評議員九名・理事十名・監事一名が出席

田正太郎監事・金沢俊弘監事による監査が行われた旨報告があった。

これを受け、長田正太郎監事が、監査を行い監査報告を提出した旨を述べた。

公益目的支出計画実施報告書については、現在順調に実施されており、平成三〇年度末には終了の見込みがある旨が事務局より報告された。

決議に入り、第一号議案、第二号議案、第三号議案とも全会一致で承認された。十二時三〇分予定通り、第十八回定時評議員会を終了した。

出席評議員(敬称略)

谷藤悦史・戸澤英典・福田八州雄・萩原直三・小沢鋭仁・小峰秀子・酒井芳彦・櫻井洋輔・田中正基

出席理事(敬称略)

鳩山由紀夫・川手正一郎・井上和子・武田紀念男・芳賀大輔・小川巧次・井上浩義・井田安信・西川伸起・攬上哲夫

出席監事(敬称略) 長田正太郎



第一回運営委員会の様子。友愛の各事業運営を、具体的に進めて行く役割を担っている

第一回「私にとって友愛とは」一位入賞

徐嘉熠さん 表敬訪問

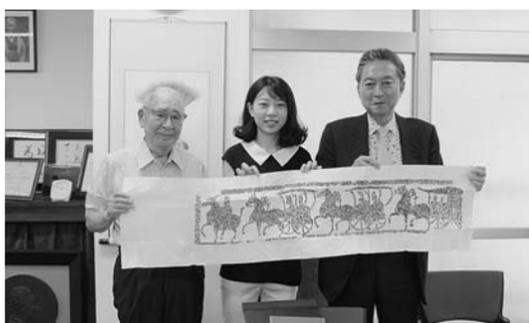
流暢な日本語で評議委員会で挨拶

六月三〇日(土)評議員会の終わった友愛サロンに、素敵なお客様がみえた。第一回友愛講演会感想文コンテストで、第一位を受賞した徐嘉熠さんである。

徐さんは、清華大学大学院二年生に在籍し、専攻は日本語・文学。北京理工大学在学中(四年生)に友愛講演会に参加し、審査にあたった理事全員が絶賛する感想文を執筆した。その後、清華大学から特待生として迎えられた才媛である。

平成三〇年四月から留学生として東京工業大学に籍をおき、九月末まで滞在する予定だ。論文執筆や、勉強で忙しい合間をぬって、是非友愛の皆さまにご挨拶とお礼を申し上げたいとのことから、この日の来訪となった。

笑顔で挨拶する徐さんに、評議員、理事も嬉しそ



故郷の有名な石碑の拓本をお土産に持参。鳩山由紀夫理事長と川手常務理事に囲まれて緊張の一瞬



評議員会に出席の役員に向かって、笑顔と素敵な日本語で挨拶 徐嘉熠さん

友愛時評

夏初めて受け入れた「震災と復興」をテーマとする米国の大学のサマースクールの一行に同行し、福島第一原発を訪れた。現地の旧エネルギー館で廃炉作業の状況についての説明を受けた後に現場へ向かい、東京電力のバスに乗り換え一時間ほどのコースを車中から見るといふものである。震災当時、筆者も固唾を呑んでテレビ中継を見守っていた中で水素爆発し「東北はもう終わりか」と思った3号機のすぐ横を通る時は、さすがに身構えた。だが、メルトダウンした原子炉建屋以外では、ほぼ通常の作業服で動き回る人々を見ながらの車内からの視察である。ほとんど危険を感じることなかった。毎月一五〇〇人ほどの見学者を受け入れ、特に今回のように海外からの視察者へのPRで東京電力が力説していたように、確かに廃炉作業は軌道に乗っているようである。トリチウム除去技術が確立していない中で増え続ける巨大な汚染水タンクが林立する光景は異様の一言だが、雨水をコンクリート舗装でシャットアウトし、地下水を汲み上げて、さらに水壁を設け、といった工夫の数々を見て、日本の技術力が総力で未曾有の難問に立ち向かっていく姿に感慨を覚えずにはいられない。帰路のバスの中、米国人教授が学生に「今日の視察で最も怖いと感じた部分はどこだったか」と聞いたところ、女子学生が「教授から、寝ているんじゃないの?と言われた時!」と返答した。帰還困難区域の廃墟が青々とした草木に覆われる中、奇妙なわけさを感じながら、会津若松市で会った大熊町の人々を思い出していた。(ヒゲ)

友愛創立65周年記念大会開催

鳩山会館に120名が集結 これからの友愛の発展を期して 5年ぶり会友が一堂に会す



五月十九日(土)鳩山会館において、友愛創立六十五年記念大会が開催された。八〇%以上の降雨予報をよそに、晴天に恵まれ一二〇名に及ぶ会友・関係各位が出席、記念大会は成功裡に執り行われた。写真とご挨拶のスピーチをご紹介します。

式典は十二時より開始され、庭に設えた特設会場に約一二〇名が出席した。式の進行は、芳賀大輔理事が担当、十二時に開式宣言を行った。

式典にあたり、一昨年六月二十一日に逝去された鳩山邦夫前理事長はじめ物故会友に一分間の黙祷が捧げられた。

続いて友愛創立以来、友愛活動の牽引役を務めてきた川手正一郎常務理事・大会実行委員長より大会宣言が述べられた。

鳩山由紀夫理事長が挨拶に立ち、今日あることの喜びを述べると共に、今後の友愛活動についての方針・思いを熱い口調で語った。

来賓代表として挨拶に立った中華人民共和国在日大使館程永華・汪婉参事官は、思い溢れる話し方で、友愛活動を称える祝辞を述べた。

出席の来賓が紹介され、



中華人民共和国在日大使館程永華大使閣下令夫人・汪婉参事官がご出席。友愛活動を称えたご挨拶を

それぞれに大きな拍手が湧いていた。

鳩山会館を背に、青空のもと参加者全員が笑顔で記念写真に納まり、まさに友愛でなければ成し得ないと思われる素晴らしい記念写真が出来上がった。

記念撮影後、会場を館内の二階ホールへ移した。涼しい二階ホールで、全員ほつとしたところで、祝電の披露、鶴巻克雄特別顧問による乾杯へと続いた。

祝電披露・順不同・

参議院議員森本真治様

(鳩山友愛塾一期修了生)

衆議院議員鳩山二郎様

(鳩山邦夫前理事長次男)

文京区長成澤廣修様

中華全国青年連合会様

中国青年国際交流中心様

大会宣言

川手正一郎大会実行委員長

心配していた天候にも恵まれ、こうして皆様にお集まりいただけたことを本当に嬉しく思います。今日の



階段上に設えた壇上から下へ降りて、参加者の皆さんに熱く友愛を語る鳩山由紀夫理事長

前に浮かぶのは、昭和二十八年四月二十九日、日比谷公会堂における結成大会の様子です。爾来鳩山一郎先生から多くの教えを受けました。友愛の原点は愛である、愛の原点は利他であるという言葉を、私自身の生命の原動力として今日まで六十五年間続けて参りました。当時の二十数名の執行部は、今ここにいる鶴巻先生、高杉さんと私の三名になつてしまいました。本日はこれからの友愛が、新しい友愛としてスタートを切る記念会でもあります。今日まで支えてくださった鳩山家のご支援に心より感謝を申し上げます。

鳩山由紀夫理事長挨拶
今日こうして友愛を支えてくださった皆様にご参集いただけましたことは、感激ひとしおであります。中国大使館程永華大使閣下令夫人、汪婉参事官にもご臨



鳩山邦夫前理事長・奥田吉郎理事・大川米子評議員など亡くなられた方々に黙祷が捧げられた
三面につづく

席をいただき、感謝申し上げます。友愛は世界各国と友愛の理念の基、友好関係を築いてありますが、特に中国とは二〇〇〇年から始まった植林活動、その他写真コンクール、講演会などを実施させていただき、ご縁を大切にして参りました。川手正一郎常務理事は、植林活動での実績を認められ昨年「国家友誼賞」という大変栄誉のある賞を、政府より送られております。

こうした活動が続けられましたのも、皆様からご支援、ご協力をいただいたおかげであります。申すまでもありませんが、友愛は、



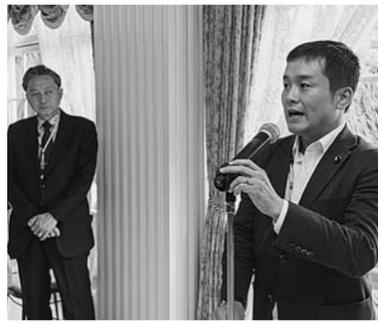
創立当時からメンバーである鶴巻克雄特別顧問は、今も心にある友愛の情熱を語り乾杯!



心配された雨もなく、参加者全員が緑あふれる庭で一堂に会した。式典は滞り無く行われた

鳩山家の個人的なものではありません。今こそ世界中で、特に日本において必要な思想、哲学ではないでしょうか。

この六十五周年を機に、更なる社会貢献を目指して、公益法人化を申請しています。弟の邦夫もそのよ



鳩山友愛塾第一期修了生、青山人さんも思いを込めて祝辞を。現在は衆議院議員として活躍中



駆けつけた築瀬進前参議院議員現在は昭和音楽大学で学長を務めておられる



公益財団法人公益法人協会太田達男会長もご出席くださった。友愛の目指す公益法人化を激励!

うな形での友愛の発展を喜んでくれていいると思いません。

友愛の思想が、世界に広がっていきよう思いを込めて、今日ここに皆様が集い喜びを分かち合えたことを感謝申し上げます、ご挨拶いたします。



一番お忙しい時期にも拘わらず来賓としてご出席くださった公認会計士小林広治先生



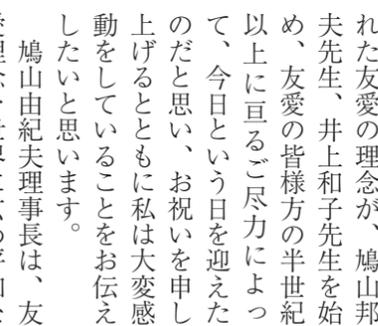
忙しい時間の合間をぬって、茂木健一郎理事も出席。人気絶大、皆さんに笑顔でご挨拶



現在活動の拠点としている金沢から遠路お越しくださった祝辞を植草一秀先生

中華人民共和国在日大使館／程永華大使閣下令夫人 汪婉参事官祝辞

みなさん、おめでとうございませう。友愛の六十五周年に対し、程永華大使を始め、中国大使館を代表してお祝い申し上げます。故鳩山一郎先生の提唱された友愛の理念が、鳩山邦夫先生、井上和子先生を始め、友愛の皆様方の半世紀以上に亘るご尽力によって、今日という日を迎えたのだと思ひ、お祝いを申し上げるとともに私は大変感動をしておりますことをお伝えしたいと思います。



鳩山由紀夫理事長は、友愛理念を世界に広め平和な世界を実現したいというお考えのもと、活動を続けて



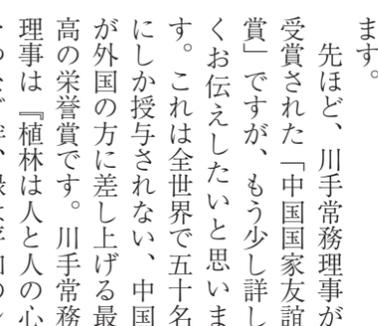
鳩山邦夫前理事長の長男、鳩山太郎さんも駆けつけて、お祝いの言葉を述べてくださった



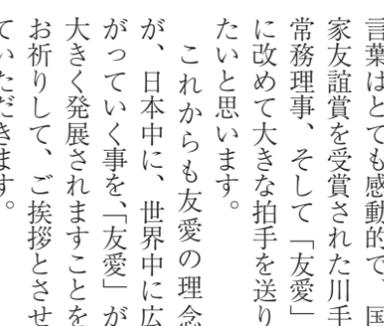
司会進行の大役を終えて、笑顔のこぼれる芳賀大輔理事(左) 川手常務理事(右)と談笑

いらっしやいます。特に中国に於いては、永年に亘る植林活動を始め、中国の大学に於いての講演会、そしてカメラで友愛を語り、平和を語る「友愛国際写真コンクール」の開催など、多くのことを実践していらっしやいます。感謝申し上げます。

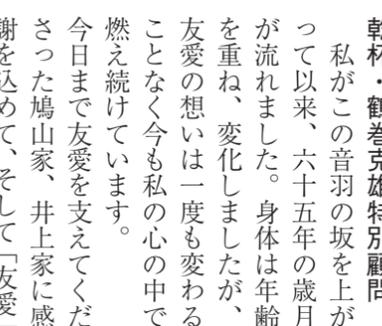
先ほど、川手常務理事が受賞された「中国国家友誼賞」ですが、もう少し詳しくお伝えしたいと思ひます。これは全世界で五十名にしか授与されない、中国が外国の方に差し上げる最高の栄誉賞です。川手常務理事は「植林は人と人の心をつなぐ絆、緑は平和のシンボル」と植林現場などでおっしゃっています。この言葉はとても感動的で、国家友誼賞を受賞された川手常務理事、そして「友愛」に改めて大きな拍手を送りたいと思ひます。



これからの友愛の理念が、日本中に、世界中に広がっていく事を、「友愛」が大きく発展されますことをお祈りして、ご挨拶とさせていただきます。



長くなってすみません。



乾杯・鶴巻克雄特別顧問

六十五周年を顧みて

我が青春を思うー

川手正二郎 常務理事



私が友愛に入会した経緯は、昭和二十七年十一月鳩山一郎先生にご拝眉いただいたこととす。そして、翌年の四月二十九日、友愛の結成大会に参加、自称会員第一号となりました。入会した翌日、私は溜池の友愛事務所を訪ねました。結成大会の余韻に興奮していた故か、奥田、渡辺、中村の三氏に会い、友愛の将来について熱く語ったことを今でもはっきり覚えています。

そして「友愛とは行動である」と、結論を出し、五月三日、奥田さんと二人で有楽町の数寄屋橋で友愛新聞を配りました。また五月初旬、友愛の事務所を、溜池から音羽の鳩山邸地下室に移す事になり、中村君と二人で、引越荷物をトラックに積み、揺れる荷台で、友愛について夢中で話しました。その時の中村君の表情を今でも忘れません。二十歳の初夏でした。

二十八年の夏から二十九年の春までは、全国組織を計画し、鳩山派の衆参議員の後援会青年部に働きかけ、会員獲得運動を展開しました。議員会館の先生方

の事務所に向い、会員紹介をお願いしたのです。東京では鳩山先生の選挙区は勿論、中野区の花村四郎先生、豊島区の中村梅吉先生には特にお世話になり、何度も事務所や自宅に行き、多くの方々に入会していただきました。また三重県の川崎秀二先生や鳥根根の山本利寿先生には、格別に協力していただきました。

友愛結成一年後の昭和二十九年には、友愛の具体的な運動とは何か、執行部で激論し、小生が、日本のチベットの当時呼ばれた東北五県(岩手・青森・秋田・山形・福島)の僻地に、新生活運動と、友愛を普及する計画を提案しました。計画には全員賛成でしたが、最大の問題は派遣費でした。どんなに節約しても映写機十六万円、フィルム他経費四万円、四十日間の交通費、宿泊費十万円、計三十三万円の資金が必要でしたがお金がありません。当時の友愛の予算は、月七、八万円位でしたが、その資金は、鳩山家、北炭、鹿島、富士鉄、東京ガス、ブリヂストン、長瀬ゴム等の会社からご寄付いただき、運営

していたのです。発案者である私は、どうして良いのか見当が付きませんでした。取敢えず、既にご寄付いただいている会社にお願ひしてみることになりました。

最初に伺ったのは東京ガスでした。飛び込みで伺いましたが、幸運にも、安西専務が会ってくれました。何を話したか覚えていませんが、友愛精神と友愛移動文化映画班の主意を懸命に訴えたと思ひます。

安西専務は一呼吸おいてから、その場で承知し励ましてくれました。青天の霹靂とは、こんなことでしようか、訪問する前は、一万円か二万円お願ひできたら最高、と思っていたのに、専務にお会いした金銀二十万円をお願いしたので。OKという全く予想外のお言葉に一瞬専務の顔が見えなくなりまし

た。この素晴らしい体験で、私は人生とは、チャレンジと勇気だと胆に銘じました。二十一才の学生でも、一所懸命になれば、理解し協力していただける、人生最大の感動を噛みしめまし

た。今でもその光景を、時々思い出し、心の中で手を合わせます。

予算三十万円のうち二十万円をいただきましたので、その後の十万円については、ご寄付いただいている会社にお願ひしたりしました。主に東洋経済の宮川会長にお願ひし、四月までに三十万円の目標を達成し、計画を具体化しました。

六月末には各県の社会教育課を尋ね、地方の事情について情報を得、七月二十日から八月三十日までの日程で「第一回友愛移動文化映画班」の計画を実施しました。

尚、二年目からは、鶴巻、柳沢両会員に、歯科診療を願ひし、日中は歯科診療、夜は講演と映画の会、そして映画終了後、地元青年団との深夜までの懇談会でしたが、訪問地では、歓迎と感謝で、重い機械を担いだ日々の疲れが一気に吹っ飛ば感じました。

以上が友愛創設時の活動の一端です。また二十九年からは、毎年五月に全国大会を開催しております。

創立以来の友愛の諸活動につきましましては、『友愛概論』に記してありますので、ご覧いただければと存じます。(編集部註・HP上にPDFで公開)

顧みますとこの六十五年、私は友愛とともに過ごしたように思います。大学を卒業し、友愛運動を続けたいと思っていました。川先生(前出)から、政治を勉強するには、経済を勉強しなさい、経済を勉強するなら証券会社が良い、証券会社へ入社しなさいと諭され、三十一年十一月突然証券会社へ入社しました。

友愛運動から離れる事は小生にとってなんとも遣る瀬無く、覚悟して社長に友愛の思想や活動について話してみましたが、叱られると思っていました。意外にも共感していただき、勤めながら支障ない限り友愛活動を許されました。また三年後友愛山荘建設に当たっては、庭にパターゴルフのコースを寄贈していただきました。

「窮すれば通ず」という言葉がありますが、人の世は「叩けよさらば開かれん」と改めて有難く思いました。

しかしその後会社での仕事は年々増え、部長を命ぜられてからは超多忙、二股では部下に申し訳なく、仕事か友愛か、進退極まる感でして。悩み抜いた末、自らの将来を考え、独立する以外ないと、二十九歳の時起業を決断し、今日に至りました。

以上が簡単な友愛創立から六十五年間の私の歩みです。さて私にとって友愛とは何か六十五年を振り返り考えてみました。私は友愛入会前、利他という言葉に出会い、それを人生の羅針盤と心に誓いました。鳩山一郎先生にお会いし、友愛を知り、利他とは友愛だと閃いたのです。以来私の生きる力、生命となりました。

私はこの六十五年、友愛を信じ、多くの皆さんと出会い、友愛とは目標に向って己を磨く事、窮極の人間像は孔子の「従心所欲 不踰矩」や墨子の「兼愛」ですが、大切なのは欲望を無にするのではなく、欲望をどうコントロールするかだと思います。

そんな心境で晩節を迎えました。二十歳から今日まで、友愛とともに歩んだことを、幸せに思うと同時に、鳩山家をはじめ出会ったすべての方々に、心から感謝します。

そして、命は人間だけのものではない、地球上のすべてと「ともに生きてゆく」です。

六十五周年を契機に友愛は新名称、新メンバーで船出しましたが、世界の平和と人々の幸せの為に躍進するように期待します。

旧友愛婦人会の方々、受付などを引き受けてくださいました。皆さんお元気で、大活躍です

友愛塾の修了生も集まりました。理事長と一緒に記念撮影。この他にも沢山の塾生が出席しました。

知り、利他とは友愛だと閃いたのです。以来私の生きる力、生命となりました。

私はこの六十五年、友愛を信じ、多くの皆さんと出会い、友愛とは目標に向って己を磨く事、窮極の人間像は孔子の「従心所欲 不踰矩」や墨子の「兼愛」ですが、大切なのは欲望を無にするのではなく、欲望をどうコントロールするかだと思います。

そんな心境で晩節を迎えました。二十歳から今日まで、友愛とともに歩んだことを、幸せに思うと同時に、鳩山家をはじめ出会ったすべての方々に、心から感謝します。

そして、命は人間だけのものではない、地球上のすべてと「ともに生きてゆく」です。

六十五周年を契機に友愛は新名称、新メンバーで船出しましたが、世界の平和と人々の幸せの為に躍進するように期待します。

井上浩義理事長が、閉会のご挨拶を。五年後、十年後の発展を祈って、活動を続けることを宣言

ひとごま

今月は、六十五周年記念大会の会場となった鳩山会館でのひとごまです。

大正十三年建設の鳩山会館は、大正・昭和初期を代表する建築物として、貴重な存在です。ステンドグラスを始め、床、ドア、蝶番に至るまで当時のものがそのまま残っています。

また、春先の桜、数々の種類を誇る庭園のバラ、秋の紅葉と四季を通じて楽しめる要素も盛り沢山です。

日本初のステンドグラス作家として知られる小川三知氏の作品。日本のステンドグラスで第二位に選ばれている。日本情緒溢れる独自の風合いは、一見の価値あり。一階から二階への踊り場にありませ

写真のステンドグラスも、光を通して見る実際の色は濃厚で、是非一日のんびりと時間を作って、鳩山会館巡りをお薦めします。休館日を確認の上おでかけください。

カーナビ等での検索では裏門を表示する場合もあるようですが、裏門からは入れません。鳩山会館正門は講談社や大塚警察署のある音羽通り(護国寺)に向って右側)に面しています。

舞の海閑
解説者小兵力士の存在感
アメフトと獣医学部で明け暮れる

日本人
カジノで遊び働き方考える
友愛がアジアの緑演出し
友愛が心の窓を開放し

時事川柳 服部迪夫 作

温暖化
確実に季節は進む亜熱帯
パルムドール受賞
邦画界は枝組が闊歩する

クローズアップ
ここにきて文武両道道板の心

世界を堪能
サッカーとゴルフに睡眠引き裂かれ
不屈の精神
板ノ心その怪力に宿る愛

植林事業
友愛がアジアの緑演出し
友愛が心の窓を開放し



庭からの風景は良く見ると思いますが、正面前景はなかなかゆっくりとは眺めないでしょう。見事!



こちら鳩をモチーフにしたステンドグラス。どこにあるかは、実際にいらして探してみても



日本初のステンドグラス作家として知られる小川三知氏の作品。日本のステンドグラスで第二位に選ばれている。日本情緒溢れる独自の風合いは、一見の価値あり。一階から二階への踊り場にありませ

機関紙『友愛』にご投稿ください！
機関紙『友愛』編集部では、皆様のご投稿をお待ちいたしております。ご自身の活動報告、地域の名物紹介、季節のお便り等、何でも結構です。写真も大歓迎です。皆様の『友愛』に奮ってご投稿ください。
締切り：特に設けない。いつでもご投稿ください。掲載ご希望の月がある場合は、2ヶ月前までに原稿必着
要領：手書き原稿・データ原稿・メールでの投稿何でも対応可能です。写真も紙焼(カラー・白黒)・デジカメデータでも。

◆友愛創立六十五周年記念大会を無事終了しました。大会の一週間前から前夜まで十九日は大雨の予報に傘やテント、会館内での行事等、心配で天に祈りました。しかし、当日は幸にも夜明けとともに雨が止み、式典時には太陽も輝き、胸のつかえも一気に吹き飛び、心浮き浮き、ついでに。そんな感動の一日でもありました。多くの皆様にご出席いただき、有難うございました。六十五年を顧み、私にとつての友愛とは、生き甲斐、生命、人生そのものです。鳩山家をはじめ、六十五年間ともに生き、ともに歩んだすべての方々に心から敬意と感謝を申し上げます。そして生ある限り友愛を体します。友愛とは世界平和の礎です。(K)
◆済んでしまえばアツという間の一日でした。しかし、天気予報を始め、心配することが沢山あり、旧友愛婦人会の皆さんのご協力を得て、当日を何とか乗り切ることが出来ました。感謝、感謝です。大勢の皆さまのご参加、遠方からの方、懐かしい塾修了生の方々、感動することしきりでした。とりわけ感動したのは、中国大使館程永華大使閣下夫人汪婉参事官です。優しい言葉で一生懸命お話をくださったご挨拶、終始笑顔をやさしい穏やかさ、素敵な女性です。帰り際に、「大変でしたね」と声を掛けてくださいました。感激！大ファンになりました！(も)

素晴らしい笑顔、友愛を文字通り体現している鳩山由紀夫・幸子夫妻。来賓のスピーチを聴きながら

旧友愛婦人会の方々、受付などを引き受けてくださいました。皆さんお元気で、大活躍です

友愛塾の修了生も集まりました。理事長と一緒に記念撮影。この他にも沢山の塾生が出席しました。

井上浩義理事長が、閉会のご挨拶を。五年後、十年後の発展を祈って、活動を続けることを宣言

庭からの風景は良く見ると思いますが、正面前景はなかなかゆっくりとは眺めないでしょう。見事!

こちら鳩をモチーフにしたステンドグラス。どこにあるかは、実際にいらして探してみても

機関紙『友愛』にご投稿ください！
機関紙『友愛』編集部では、皆様のご投稿をお待ちいたしております。ご自身の活動報告、地域の名物紹介、季節のお便り等、何でも結構です。写真も大歓迎です。皆様の『友愛』に奮ってご投稿ください。
締切り：特に設けない。いつでもご投稿ください。掲載ご希望の月がある場合は、2ヶ月前までに原稿必着
要領：手書き原稿・データ原稿・メールでの投稿何でも対応可能です。写真も紙焼(カラー・白黒)・デジカメデータでも。

◆友愛創立六十五周年記念大会を無事終了しました。大会の一週間前から前夜まで十九日は大雨の予報に傘やテント、会館内での行事等、心配で天に祈りました。しかし、当日は幸にも夜明けとともに雨が止み、式典時には太陽も輝き、胸のつかえも一気に吹き飛び、心浮き浮き、ついでに。そんな感動の一日でもありました。多くの皆様にご出席いただき、有難うございました。六十五年を顧み、私にとつての友愛とは、生き甲斐、生命、人生そのものです。鳩山家をはじめ、六十五年間ともに生き、ともに歩んだすべての方々に心から敬意と感謝を申し上げます。そして生ある限り友愛を体します。友愛とは世界平和の礎です。(K)
◆済んでしまえばアツという間の一日でした。しかし、天気予報を始め、心配することが沢山あり、旧友愛婦人会の皆さんのご協力を得て、当日を何とか乗り切ることが出来ました。感謝、感謝です。大勢の皆さまのご参加、遠方からの方、懐かしい塾修了生の方々、感動することしきりでした。とりわけ感動したのは、中国大使館程永華大使閣下夫人汪婉参事官です。優しい言葉で一生懸命お話をくださったご挨拶、終始笑顔をやさしい穏やかさ、素敵な女性です。帰り際に、「大変でしたね」と声を掛けてくださいました。感激！大ファンになりました！(も)